【令和３年度第２回目業務報告　報告内容】

岩手県陸前高田市に派遣されてから約３ヶ月が経過し、少しずつ岩手での生活や業務内容にも慣れてきました。今回の業務報告では、５月６日から供用を開始した陸前高田市役所新庁舎の様子や、私の担当業務の１つであり、５月２３日より開講した令和３年度陸前高田市防災マイスター養成講座の様子などについて、報告したいと思います。また、６月１７日に陸前高田市内で実施された聖火リレーの様子や、派遣先での休日の過ごし方として、現在放映されている「連続テレビ小説　おかえりモネ」の舞台となっている、宮城県気仙沼市内を観光した際の様子についても、合わせて紹介したいと思います。

（報告内容）

１　陸前高田市役所新庁舎について
２　令和３年度陸前高田市防災マイスター養成講座について
３　東京 2020 オリンピック聖火リレーについて
４　派遣先での休日の過ごし方（宮城県気仙沼市内観光）について

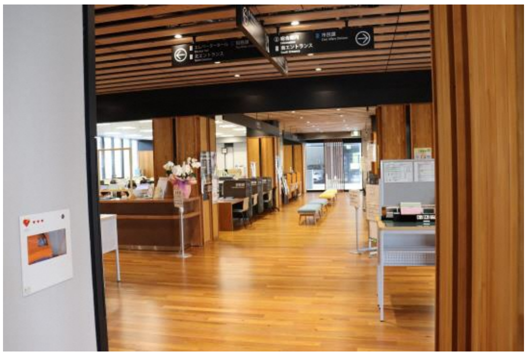
１　陸前高田市役所新庁舎について

陸前高田市は震災により庁舎が被災し、震災発生から約１０年間仮設庁舎で業務を行って来られました。今年のゴールデンウィーク期間中に新庁舎への引っ越しが行われ、５月６日より新庁舎での業務が開始されました。

新庁舎の外観

約 10 年間業務が行われた仮設庁舎

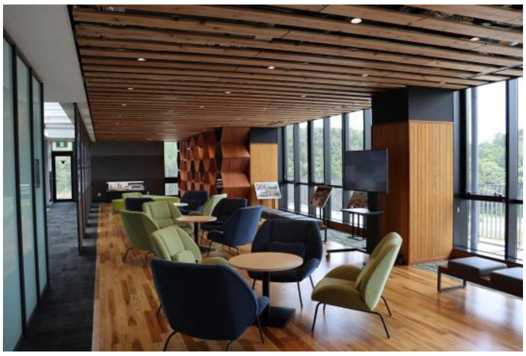
新庁舎は鉄筋コンクリート造り７階建てで、免震構造となっています。また、震災時より庁舎の場所を内陸に移し、土地を海抜１７メートルにかさ上げされています。



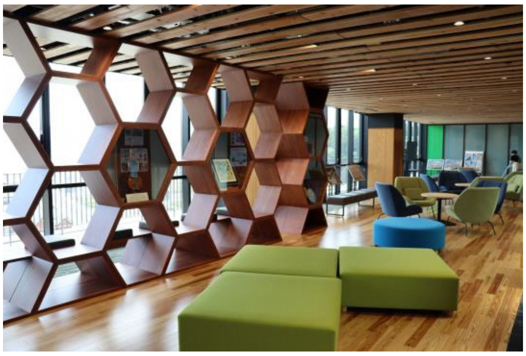
庁舎１階の様子

庁舎７階から見た市街地の様子

新庁舎内を歩いていると木の良い香りがし、庁舎内はとても明るい印象を受けます。また、庁舎７階には展望ロビーが設置され、市街地を一望することができます。



展望ロビーの様子①



展望ロビーの様子②

私が所属している防災局防災課は、仮設庁舎の向かい側に建設された「陸前高田市消防防災センター」の中に配置されているため、直接新庁舎内で業務を行うことは少ないです。また、新庁舎が完成した後も、災害時における防災機能を集約する観点から、有事の際には災害対策本部は新庁舎内ではなく消防防災センター内に設置されることとなります。今後は、新庁舎の完成に伴い、今年度中に新庁舎を活用した庁内訓練も計画されているため、災害時でも円滑に業務や災害対応が実施できるよう、引き続き準備等を行っていきたいと思います。

２　令和３年度陸前高田市防災マイスター養成講座について

私の担当業務の１つである、令和３年度陸前高田市防災マイスター養成講座が開講し、５月２３日に第１回、６月２７日に第２回の講座がそれぞれ実施されました。当該講座は、平成３０年度から実施されている、陸前高田市独自の取り組みであり、将来の大規模災害発生に備え、防災に関する知識や技術の習得及び地域における防災リーダーの役割を担う人材養成を目的とした、市民向けの講座です。

講座開講式の様子
（演台で説明しているのが私です）

第２回講座中の様子

５月に行われた第１回の講座では、基調講演として、東京大学生産技術研究所の加藤孝明教授から、地域防災の重要性や地区防災計画などについて、講義を行っていただきました。また、６月に行われた第２回の講座では、盛岡地方気象台の職員の方に、気象に関する基礎知識について、また、陸前高田市防災局防災課長より、避難情報の内容について、それぞれ講義していただきました。

今年度は、新規受講生とリピーターの方を合わせて、約５０名の方々が講座を受講しておられます。また、コロナ禍での講座開催であるため、感染症対策についても留意する必要があります。

今後も１２月まで毎月講座が予定されており、準備等は大変なこともありますが、市民の方々に少しでも防災への関心を深めていただける機会となるよう、引き続き業務に取り組んでいきたいと思います。

3　東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

６月１６日から１８日までの３日間、岩手県内で聖火リレーが開催され、陸前高田市内でも、１７日に聖火リレーが実施されました。

陸前高田市の聖火リレーは、震災からの復興の象徴である「奇跡の一本松」を午後７時１２分頃スタートし、平成２９年４月に完成した、大型複合商業施設である「アバッセたかた」に午後７時４２分頃到着するルートで開催されました。また、ゴール地点の「アバッセたかた」では、２日目の聖火リレー最終地点ということで、セレブレーションも開催されました。

岩手県内の聖火リレールート

スタート地点に向かうランナーの様子

リレー開始前のスタート地点（奇跡の一本松）付近の様子

聖火リレーを行うランナーの様子

トーチキスを行うランナーの様子

実際に聖火リレーを見て、３月２５日に福島県よりスタートした聖火リレーが３３番目の岩手県まで、多くの人々の想いを乗せて繋がれてきたことを実感することができ、とても感動しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、公道での聖火リレーが実施できなかった自治体もある中、聖火リレーを間近に見ることができ、とても貴重な体験をさせていただいたなと思います。

4　派遣先での休日の過ごし方（宮城県気仙沼市内観光）について

岩手県での生活にも慣れてきたため、休日に外出することも少しずつ増えてきました。今回は、現在放映されている「連続テレビ小説　おかえりモネ」の舞台にもなっている、宮城県気仙沼市

内を観光した際の様子について、紹介したいと思います。
　気仙沼市は宮城県の北東端に位置し、陸前高田市からは車で約２０分の距離にあります。現在放映されている「連続テレビ小説　おかえりモネ」のヒロインの生まれ故郷として、気仙沼市内の多くの場所がロケ地として使われています。

大島フェリー発着所の様子（気仙沼市内では街の至る所で「朝ドラ」の宣伝がなされています）

　気仙沼には東北地方最大の有人島である気仙沼大島があり、気仙沼内湾のフェリー発着所からは土日を中心に観光遊覧船が運行されています。また、気仙沼大島は東日本大震災で一時孤立した経験から、本州と気仙沼大島の間に平成３１年４月、「気仙沼大島大橋」が開通し、車で気仙沼大島まで行けるようになりました。気仙沼大島には海水浴場や亀山展望台などがあり、ドライブするにはもってこいの場所です。
　今後も、コロナには気をつけながら、いろいろな場所を観光してみたいと思います。

気仙沼観光遊覧船の様子①

気仙沼観光遊覧船の様子②（船内ではウミネコに餌をやることもできます。）

亀山展望台から見た気仙沼大島の様子

気仙沼大島にある田中浜の様子

気仙沼大島大橋の様子（車だけでなく徒歩や自転車でも渡ることが可能です。）